

みずほCustomer Desk Report 2017/12/13号(As of 2017/12/12)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	113.59
TKY 9:00AM	113.55	1.1777	133.73	1.3347	0.7530
SYD-NY High	113.75	1.1792	133.75	1.3380	0.7580
SYD-NY Low	113.37	1.1718	133.03	1.3303	0.7519
NY 5:00 PM	113.55	1.1742	133.37	1.3314	0.7559
NY DOW	24,504.80	118.77	日本2年債	-0.1500	0.00bp
NASDAQ	6,862.32	▲ 12.76	日本10年債	0.0400	▲ 1.00bp
S&P	2,664.11	4.12	米国2年債	1.8292	0.82bp
日経平均	22,866.17	▲ 72.56	米国5年債	2.1710	1.18bp
TOPIX	1,815.08	1.74	米国10年債	2.4020	1.26bp
シゴ日経先物	22,920	▲ 40	独10年債	0.3150	2.35bp
ロンドンFT	7,500.41	46.93	英10年債	1.2210	1.90bp
DAX	13,183.53	59.88	豪10年債	2.5425	▲ 0.95bp
ハンセン指数	28,793.88	▲ 171.41	USDJPY 1M Vol	6.78	▲ 0.38%
上海総合	3,280.81	▲ 41.38	USDJPY 3M Vol	7.44	▲ 0.36%
NY金	1,241.70	▲ 5.20	USDJPY 6M Vol	7.95	▲ 0.33%
WTI	57.14	▲ 0.85	USDJPY 1M 25RR	-0.63	Yen Call Over
CRB指数	183.41	▲ 2.08	EURJPY 3M Vol	7.70	▲ 0.27%
ドルインデックス	94.09	0.23	EURJPY 6M Vol	8.15	▲ 0.25%

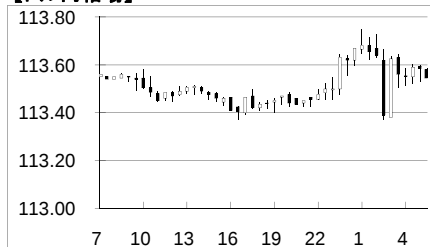
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
12月12日	8:50	日 国内企業物価指数(前月比/前年比)	11月 3.5%/0.4%	3.3%/0.2%
	18:30	英 CPI(前月比/前年比)	11月 0.3%/3.1%	0.2%/3.0%
	19:00	独 ZEW調査(現状/期待)	12月 89.3/17.4	88.7/18.0
	22:30	米 PPI最終需要(前月比/前年比)	11月 0.4%/3.1%	0.3%/2.9%

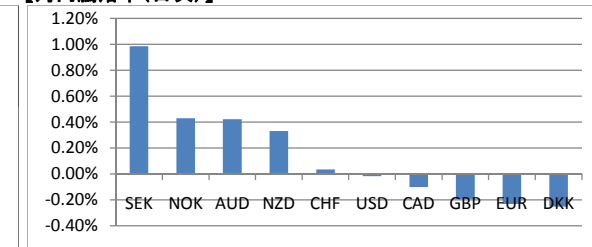
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
	8:50	日 コア機械受注(前月比/前年比)	10月 2.9%/-3.4%	-8.1%/-3.5%
	16:00	独 CPI(前月比/前年比)・確報	11月 0.3%/1.8%	0.3%/1.8%
	18:30	英 ILO失業率(3ヶ月)	10月 4.2%	4.3%
	18:30	英 週平均賃金3ヶ月(前年比)	10月 2.5%	2.2%
	19:00	欧 鉱工業生産(前月比/前年比)	10月 0.0%/3.2%	-0.6%/3.3%
	21:00	米 MBA住宅ローン申請指数	-	4.7%
	22:30	米 CPI(前月比/前年比)	11月 0.4%/2.2%	0.1%/2.0%
	21:30	米 コアCPI(前月比/前年比)	11月 0.2%/1.8%	0.2%/1.8%
12月14日	4:00	米 FOMC 政策金利	-	1.25%-1.50%
	4:30	米 イエレンFRB議長 記者会見	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	113.00-114.10	1.1700-1.1800	132.80-134.20

【マーケットインプレッション】

昨日海外時間のドル円相場は方向感に欠ける推移となった。米11月PPIが市場予想を上回ったこと等を受けて米金利が上昇する展開となるとドル円は一時113.75まで上昇。ランド・ポール共和党上院議員の「巨額な債務が増える法案に対して票は入れられない」との発言を受けて急速にドル売りが進み113.37まで下落したものの、その後「税制改革に反対している訳ではない」とのコメントに113円台後半を回復。その後は様子見ムードとなり113円台半ばから後半にかけてのみみ合いとなった。本日のドル円は上値の重い推移を予想。FOMCでは利上げが確実視されており、利上げ発表後は一時的にドル買いで反応することも想定される。しかし、ドットチャートの内容に注目が集まるものの、FOMCメンバーが示す利上げペースに対する市場参加者の懐疑的な見方は現時点では拭いきれないままとされる。税制改革案への不透明感も意識される状況下、113円台後半から114円台ではドル売り優勢となり上値を重くする展開を予想する。

東京	朝方に発表された本邦11月国内企業物価指数は市場予想を上回る結果となったものの市場の反応は限定的となり、東京時間のドル円は113.55レベルでオープン。前日比マイナスイで寄り付いた日経平均株価がプラス圏まで浮上する展開となるとドル円も底堅い推移となり一時113.58まで上昇。しかし、直近レシオスとなっている113.60を上抜けるほどの力強い上昇とはならず、その後は特段の材料ない中、動意に乏しい展開となり、113.46レベルで海外へ渡った。結局、この日の東京時間の値幅は15銭と非常に狭いレンジ内での推移に終始した。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、113.46レベルでオープン。13日のFOMCや、14日のECB理事会を控え、様子見ムード、オープンレベルから小動きの展開となり、113.47レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.3345レベルでオープン。主要バイライクの停止が発表され、原油供給が減少するとの思惑から英北海プレートの先物相場が2015年6月以来2年半ぶりの水準まで上昇し、ポンドドルも1.3364まで堅調に推移。その後、英11月CPIが前年比+3.1%と市場予想(同:+2.9%)を上回る結果となり約6年ぶりの高水準となったことから、1.3380まで一段と買われ、1.3365レベルでNYに渡った。(ロンドン・フリー 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	NY時間のドル円は113.47レベルでオープン。朝方は、米11月PPIが予想を上回ったことから、翌日のCPIに対する期待もあり、113.55まで上昇する。その後も米金利が上昇する展開にドル円は徐々に下値を切り上げ、113.75まで上昇する。しかし、午後に入ると上院の減税法案に対して賛成していたランド・ポール共和党上院議員が「巨額な債務が増える法案に対して票は入れられない」と表明とのヘッドラインを受け、急速にドル売りが強まり、113.37まで急落する。しかし本人がこれは税制改革に反対している訳ではないとソーシャルメディアで明らかにしたことから、急速に113.64まで買い戻される。その後は、FOMCやトランプ氏の税制改革法案支持に向けての最後の演説を翌日に控え狭いレンジでの推移が続いたが、終盤にかけて、テイラー・米務長官が米国は北朝鮮と前提条件なしで交渉す意向があると話したことからややドルが買われ、113.55レベルでクロスした。一方ユーロもFOMC、ECBを控え、海外市場で狭いレンジでの推移が続く。1.1774レベルでNYオープン。朝方は米金利上昇を背景に、ドル買いが強まったことから、ユーロドルは上値を切り下げ、1.1718まで下落する。午後に入り、前述のランド・ポール議員の発言を受けたドル売りに1.1737まで戻す。終盤に掛けては狭いレンジでの推移が続く。1.1742レベルでクロスした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:森谷・森谷